



令和元年5月23日
国土交通省中部地方整備局
木曽川上流河川事務所

地元建設業者とタイアップ！

地域を守る災害対策車両の訓練を実施します

概要

地震大雨等の災害発生時に備え、防災力の強化を図るため、(一社)岐阜県建設業協会と災害対策車両の操作訓練を実施します。

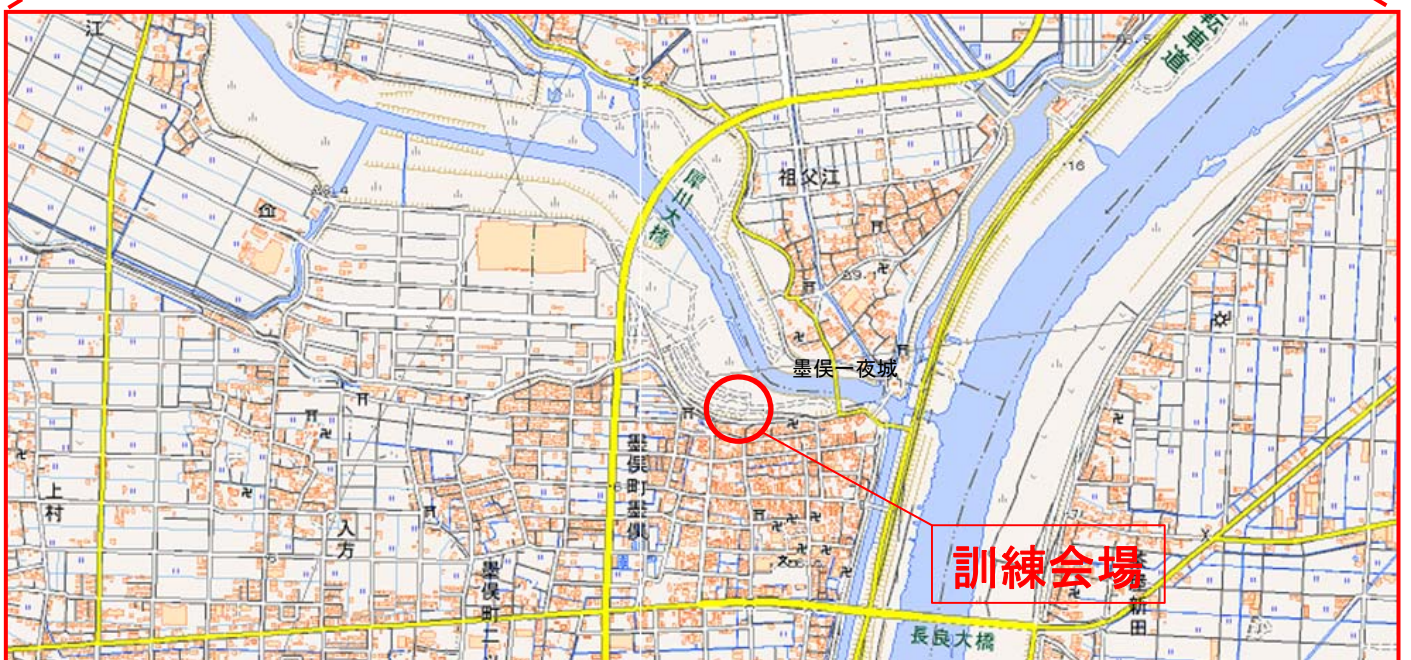
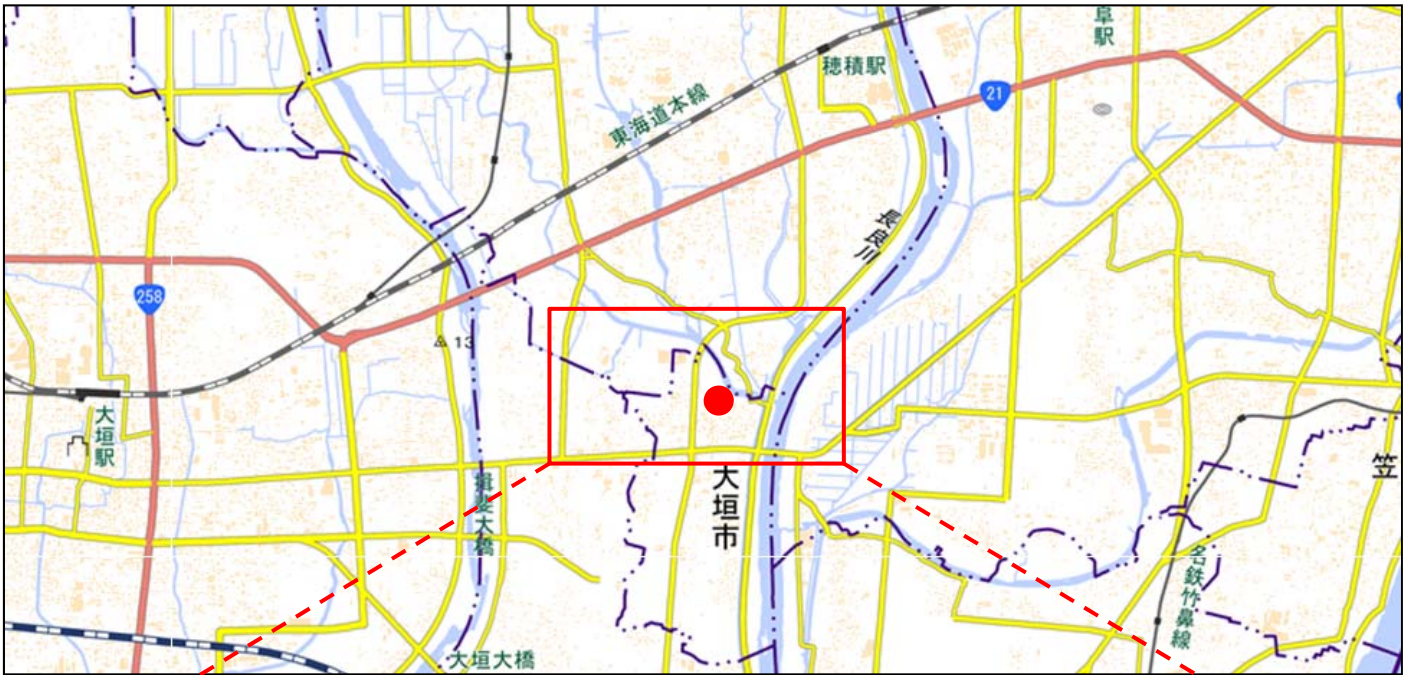
これは、災害時の協力に関する協定に基づくもので、本訓練を通じて、地元建設業者にも災害対策車両の操作方法を習得・習熟していただき、災害対応力をより一層高めることを目指します。

- 開催日時 令和元年5月29日(水) ※小雨決行
・午前の部：10:00～12:00
・午後の部：13:30～15:30
- 開催場所 さい川さくら公園(大垣市墨俣町さい川堤外地) ※別紙1参照
- 主催 国土交通省中部地方整備局
木曽川上流河川事務所(事務局)、木曽川下流河川事務所、岐阜国道事務所
- 参加者 (一社)岐阜県建設業協会会員企業 約70名
- 訓練内容 木曽川上流河川事務所の保有する災害対策車両を用いた操作訓練
※訓練車両：対策本部車、排水ポンプ車、照明車(詳細は別紙2参照)
- 解禁 指定なし
- 配布先 岐阜県政記者クラブ
- 問合せ先 (事務局)
木曽川上流河川事務所 岐阜市忠節町5-1
TEL: 058-251-4265(防災情報課直通)
副所長 ながた もと 永田 基
保全対策官 かわぐち かずひこ 川口 一彦

岐阜県建設業協会 災害対策車両訓練 会場案内図

場 所：さい川さくら公園（大垣市墨侯町犀川堤外地）

実施日：令和元年5月29日（水）



さいがいげんば かつやく さいがいたいさくしゃりょう

災害現場で活躍する災害対策車両

対策本部車 (たいさくほんぶ車)



げんち たいさく ほんぶ かつやく

◆ 現地対策本部として活躍

車体を拡幅した時の室内の広さは14畳で、災害現場で会議室や仮眠所として使用できます。無線機、FAX、TVなどを搭載。シャワー、トイレ、などを装備し、災害現場の対策本部として機能します。2台を連結することができ、さらに広いスペースを確保できます。



排水ポンプ車 (はいすいポンプ車)

やく から

◆ 小学校のプールを約10分で空に

内水はん濫で緊急に排水が必要な時に使用します。

1秒間にドラム缶約2.5本(30m³/分)の排水が可能、小学校のプールを10分ほどで空にすることができます。

1回の給油で約13時間稼働します。



照明車 (しょうめい車)



きんきゅうやかんさぎょう あんぜん こうりつ かくほ

◆ 緊急夜間作業の安全と効率を確保

災害現場で夜間に十分な明るさを確保し、緊急作業の効率を高めるとともに、安全な作業環境を確保します。

明るさは、グラウンドのナイター照明塔1基に相当します。

また、7階建ビルの屋上と同じ高さから現場を照らします。

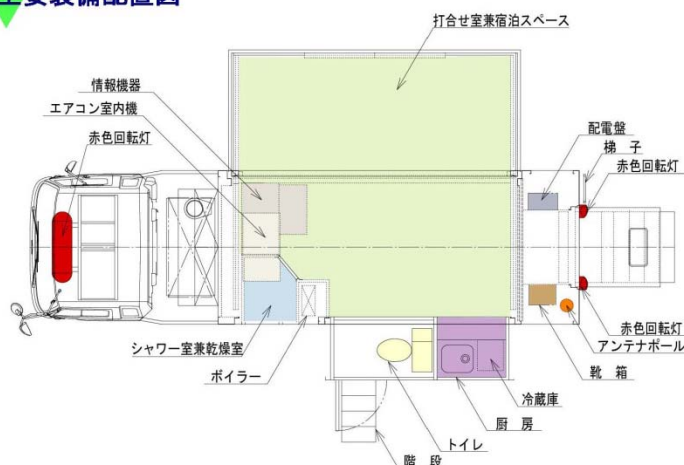


対策本部車

災害現場に出動し現地対策本部として使用します。情報収集、応急対策の指示、情報連絡や広報活動などに活躍します。



主要装備配置図



主な特徴

- トラックのボディは、拡幅構造となっており走行時は普通のトラックの寸法ですが、拡幅時には約2倍、14畳分のスペースを確保できます。2台を連結することができ、さらに広いスペースが確保できます。
- 移動電話装置、FAXなどの通信設備を装備し、対策本部などとの情報連絡をスムーズにできます。
- シャワー室、テレビ、キッチン、冷蔵庫、電子レンジなどを装備し、現地対策本部をバックアップします。

車両の仕様

車体寸法 (全長×全幅×全高)	8.985m×2.47m×3.79m 拡幅時の全幅 5.45m
車両総重量	9,850kg
乗車定員	3名
室内寸法(m)	(L)4.53×(B)5.15×(H)2.35
最低地上高	185mm
使用燃料 (軽油)	車両用燃料タンク150L 灯油(温水ボイラー用)40L
運転免許	中型自動車免許

装備品

通信設備	400MHz帯移動電話、FAX、地デジ・BSTV、衛星電話、インターネット(持込)
生活設備	トイレ、調理台、清水タンク(250L)、汚水タンク(100L)、冷蔵庫、電磁コンロ、電子レンジ、換気扇、シャワー室、給湯、温風乾燥機、仮眠用寝袋、発動発電機、エアコン、会議用テーブル、外部電源入力装置

排水ポンプ車

浸水被害で緊急に排水が必要な時に出動します。
小学校のプールを10分ほどで空にすることができます。



▼ 主な特徴

- 1秒間にドラム缶約2.5本分の排水を行います。
- 排水ポンプの重量は約35kgで、クレーンに頼らず人力で設置することができます。
- トラックに発動発電機・ポンプ・ホースを備えており、全ての作業を排水ポンプ車のみで行うことができます。
- 1回の給油で、約13時間稼働します。

▼ 車両の仕様

車体寸法	8.48m×2.36m×2.80m (全長×全幅×全高)
車両総重量	10,050kg
乗車定員	2名
駆動方式	4輪駆動
使用燃料 (軽油)	車両用燃料タンク100L 発電用燃料タンク250L
運転免許	中型自動車免許
エンジン出力	162kw(220PS)

▼ 排水ポンプの仕様

形式	水中モーターポンプ
台数	4台
口径	Φ200mm
排水量	7.5m ³ /min/台
揚程	10m
重量	35kg/台

照 明 車

夜間の災害現場で十分な明るさを確保し、安全な作業環境を確保するとともに緊急作業の効率を高めます。



▼ 主な特徴

- 2,000Wのメタルハイドランプ6灯を搭載。グラウンドのナイター照明塔1基に相当する明るさを確保します。
- 照明灯の高さは20mで7階建てビルの屋上と同じ高さから照らすことができます。
- 1回の給油で約26時間の照明作業を行うことができます。
- 電源供給車として使用することができます。

▼ 車両の仕様

車体寸法	6.63m×2.06m×3.23m (全長×全幅×全高)
車両総重量	7,840kg
乗車定員	2名
駆動方式	後輪駆動
使用燃料 (軽油)	車両燃料タンク100L 発電用燃料タンク110L
運転免許	中型自動車免許
エンジン出力	114kw(155PS)

▼ 照明装置の仕様

電源設備	発電容量:25kVA 3相 220V 60Hz
照明灯	メタルハイドランプ 2,000W×6灯
最高地上高	20m

大雨や地震等の災害発生時に備え、防災力の強化を図るため、災害時の協力に関する協定に基づき、(一社)岐阜県建設業協会会員企業を対象に、平成30年7月豪雨での災害対策車両の派遣状況を振り返るとともに、災害対策車両の運搬・操作等訓練を実施しました。

- 日 時：平成30年10月25日(木)
 - ・午前の部：10:00～12:00
 - ・午後の部：13:30～15:30
- 場 所：さい川さくら公園(大垣市墨俣町地内)
- 主 催：木曾川上流河川事務所(事務局)
木曾川下流河川事務所、岐阜国道事務所
- 対 象：(一社)岐阜県建設業協会会員企業 (約60名)
- 車 両：対策本部車1台、排水ポンプ車2台、照明車1台
- 内 容：災害対策車両運搬等訓練
* 車両保管場所と訓練場所間の車両運搬訓練
災害対策車両操作等訓練

災害対策車両運搬等訓練

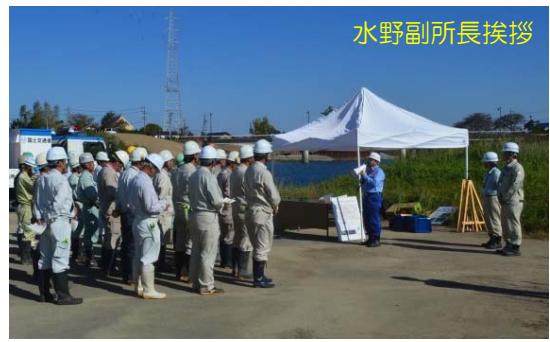


車両保管場所(両満川排水機場)での説明



災害対策車両操作等訓練

開会式



平成30年7月豪雨の振り返り



対策本部車の操作訓練



照明車の操作訓練



排水ポンプ車の操作訓練



排水作業の実演訓練

